

9. 食品 部会

尾崎 英之 部会長

9. Departamento de Gêneros Alimentícios

Presidente: Hideyuki Ozaki

2008年回顧と2009年展望

業種別部会長シンポジウム

ブラジル日本商工会議所
食品部会
2009年2月17日(火)

全体まとめ

08年回顧

- 下期以降、減速状態
- 為替安より輸出採算改善
- 原材料コストアップ
- 増税(ICMS、IPI等)
- 減税(PIS, COFINS等)
- 価格転嫁は困難
- 低所得者向け商品好調
- 市場ニーズにあった新製品投入

09年展望

- 不景気感増、伸び悩み
- 輸入財アップによるコスト増
- コスト削減にて利益確保
- 高付加価値品投入、周辺諸国への輸出へ
- 国内競合会社との競争
- 価格コンシャスな製品提供
- 食品への増税懸念

乳酸飲料

08年回顧

- 成長継続
（前年同期比+10%）
- 訪問販売効果
（6千人の販売員）
- PIS.COFINS減税
- 利益は30%増
- スーパーから引き合い

09年展望

- 一般食品へ課税懸念
（ICMS税のST*制度）
- 国産原料比率50%
- コスト吸収が課題
- 5%販売増が目標

*Substituicao Tributaria

国内家庭用食品

08年回顧

- 業界下期は市場減速へ
⇒他業界に比べ影響小
- 売上は前年比109%達成
⇒調味料分野 +4%
⇒外食事業 好調+36%
⇒南米市場輸出 +57%

09年展望

- 市場の伸び悩み予想
⇒不景気、失業率上昇
- コストダウンへ取り組みへ
⇒為替安:輸入原材料増
- 価格調整へ
⇒消費者ニーズ見極め
- 南米市場へ積極進出
⇒レアル安を利用

素材用食品

08年回顧

- 環境好転、採算改善
 - ⇒原料、輸送コスト増が下期に落ち着き
 - ⇒価格転嫁実施
 - ⇒9月以降の為替安

09年展望

- 市場縮小と価格競争激化
 - ⇒世界経済情勢悪化
- 現状の市場ポジション維
 - ⇒為替安を利用

冷凍果汁

08年回顧

- 果実全般は減少
(マンゴ、ブドウは△30%)
- アセロラ栽培数量増加
1.9万トン(07年)⇒2万トン
- 売上(+22%)
利益改善(+93%)
(設備稼働、欧州好調)

09年展望

- アセロラ需要拡大継続
- 販売数量増(対欧州)
- 値上合意(+30%増)
- 製造歩留り向上
- 2009年度業績期待

輸入調味料

08年回顧

- 日本産価格値上げ
(17年ぶり)
- 並行輸入品増加
⇒正規輸入品(シンガポール産)への影響
- Oriental市場は寡占状況
- Ocidental市場開拓中
⇒エリアマーケ、ロコミ等

09年展望

- シンガポール、USA産値上げ
⇒富裕層をターゲットへ
- きめ細かいエリアマーケティング
⇒富裕層からのシャワー効果
- 偽造品にも継続監視
⇒北京五輪後は減少

食品添加物

08年回顧

- 日本の食品偽装問題
⇒海外トレーサビリティ強化
- 日本景気悪化、ニーズ変更
⇒原材料輸出減
オレンジからグレープフルーツへ
- 食品添加物ニーズ
⇒合成から天然着色料

09年展望

- 機能的食品、添加物の販売強化
⇒ブラジル消費者嗜好変化
⇒ダイエット関連
- 天然色素へのニーズ大
⇒輸入障壁あり
⇒市場拡大へ

健康食品

08年回顧

- 輸入健食
 - ⇒売上高+20%強
 - ⇒リアル安はコスト高
 - ⇒ダイレクトメールコストアップ
- 輸出健食
 - ⇒アガリクス、プロホリス不調
 - ⇒アサイ好調(USA向け)
 - 11千ton (08年、+57%増)

09年展望

- 輸入健食
 - ⇒他業界に比べ健康食品の影響は小幅
 - ⇒リアル安と輸入価格アップ
 - ⇒長期スパンの販売増計画
- 輸出健食
 - ⇒国内販売シフト
 - オーガニックアルコール絶好調
 - 直売、受託分析事業等

即席麺

08年回顧

- 即席麺市場は約3%拡大
⇒他小麦製品より高い伸び
⇒インフレ価格転嫁が最小限
- 売上は2ケタ増
⇒北東部、C層以下が拡大
- 製造原価上昇(年度後半)
⇒世界的原料価格高騰
⇒10月以降のリアル安

09年展望

- 市場は成長継続(約4%)
- 中所得者層購買力低下
原材料価格上昇
SP州のST*制度 が懸念
- 価格競争再燃
⇒景気減速による原燃材
料相場下落
⇒競合他社による値引き

コーヒー

08年回顧

- 輸出: 29.3MIL俵 (+4.4%)
: US\$4,728MIL(+22.1%)
- 世界の消費: 128MIL俵
(+1.1%)
- 国内: 9月以降混乱
⇒信用収縮・在庫圧縮へ
⇒契約キャンセル、船積遅延

09年展望

- ブラジル生産減へ(▲18%)
(46→37~39百万袋へ)
- 市場は下期以降、安定へ
⇒リアル安は輸出に追い風
⇒新規成約は大幅減少
⇒下期に市中在庫減少へ

酒類

08年回顧

- 日本食業務用市場は穏やかな成長
- SPのST*制(ICMS増税)
- 原料米の高騰
- レアル安で輸入コスト増
- Lei Secaによる需要減
- 価格転嫁が不十分
- 大手スーパー向け好調

09年展望

- 業務用市場の減速不安
ICMS, IPI増税
- 限界利益低減
⇒米相場高止まり、原材料コスト増
⇒製品値上げ
- 南米諸国への輸出検討
⇒レアル安を利用

商工会議所へのリクエスト

- 日伯EPA実現の可能性探索
ブラジル外務省の情報収集
行動計画作り
FIESP, CNI等への積極的な要請など